



中国労災病院

Chugoku Rosai Hospital

地域医療連携News

平素より中国労災病院が大変お世話になり、誠にありがとうございます。

地域医療連携News第191号を発行致しました。今後とも連携の程よろしくお願い申し上げます。

中国労災病院理念

働く人と地域の人のために患者中心の良質な医療を提供します。

中国労災病院の基本方針

- 個人の尊厳と権利を尊重し、高度で安全な医療を推進します。
- 地域の医療機関と連携し、救急・急性期から慢性期までの一貫した医療を実践します。
- 最新の医学に基づいた専門的な医療を実践します。
- 働く人の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
- 周産期医療を充実させ、未来を担う子供たちを支援します。
- 優れた人材を育て、働きがいのある職場づくりを推進します。

初期臨床研修の理念

当院の初期臨床研修の理念は、崇高な信念と人格をもち、基本的な診療能力及び生涯にわたり自己研鑽する態度を身に付けた自立した医師を育成することです。

初期臨床研修の方針

- ①患者中心の思考・行動をする姿勢を持つこと。
- ②救急医療やプライマリケアなどの診療能力を修得すること。
- ③他の医療スタッフと協調し、安全で質の高いチーム医療を提供すること。
- ④地域のかかりつけ医と連携し地域完結型の医療を学ぶ。
- ⑤症例を通じて、診断・治療の結果だけではなく、プロセスを学ぶ。

1. | 1.5テスラMRI装置が生まれ変わりました ～令和6年12月16日(月)から稼働します～



当院では平成21年から15年間使用していた1.5テスラMRI装置(GEヘルスケア社製:SIGNA™ HDxt 1.5T)を次世代システム(SIGNA™ Artist EVO 1.5T)にアップグレードを行いました。このアップグレードは、既存のMRIマグネットを基盤に全く新しいコンピュータや画像再構成エンジン、アプリケーションを搭載しシステム全体を刷新します。これにより高画質化と臨床機能、ワークフローを向上させ、最新のシステム導入を行いました。さらに、新規入れ替えの様に大規模な工事や屋内からマグネットの出し入れをする必要がないため、工事期間の短縮が

できました。



GEヘルスケア社製 SIGNA™ Artist EVO 1.5T

◇最新システムの特徴

①より広いワイドボア

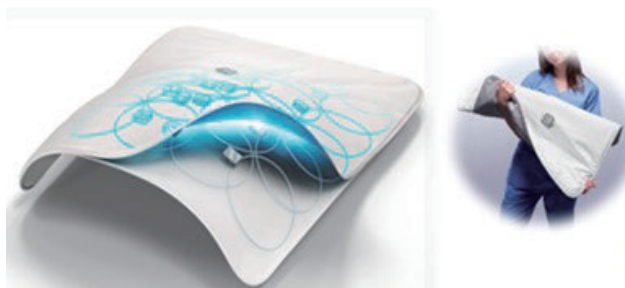
従来のシステムより、トンネル経が10cm幅広の70cmのワイドボアになりました。これにより、壁面が顔から遠ざかることによる圧迫感の低減、体格の大きな方の撮影、

側臥位撮影が可能になり、患者様のストレスが軽減されます。



②軽量でブランケットのようなAIR™コイル

軽量かつ柔らかい構造で体の様々な部位にフィットし、無理のない体勢で検査を行え、患者様の負担が軽減されます。また、従来のコイルに比べて感度範囲が向上しており、高画質で且つ、高分解能な画像を提供できます。



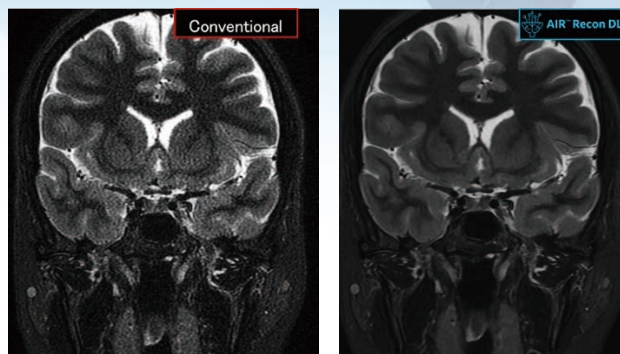
無理のない体勢で様々な撮像視野に対応

③新しい画像再構成アルゴリズムAIR™Recon DL (Deep Learning)

最新技術により画像ノイズの低減、空間分解能の向上、アーチファクトの低減が可能となり、従来の装置よりも高画質かつ短時間撮影ができます。

※AIR (Adaptive Imaging Receive)

様々な変化(患者、部位、プロトコル)に適して最適なイメージを提供する。



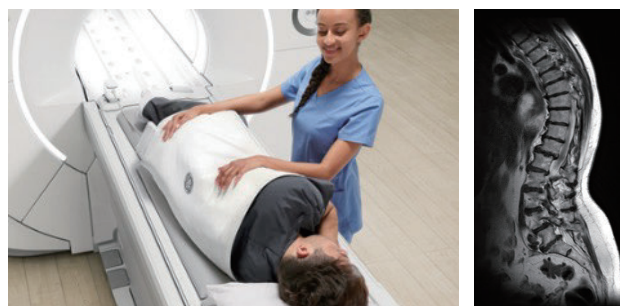
従来の再構成法

AIR™ Recon DL再構成法ノイズ低減

最新技術AIR™ Recon DL (Deep Learning)

・側臥位撮影

仰向けになれない患者様も、上記の技術を利用することで高画質な画像を得られます。



側臥位腰椎 (AIRコイル使用)

◇明るい室内空間

床を木目調に、照明をLEDに変更して柔らかく落ち着いた室内空間になりました。



MRI装置更新工事期間中は、患者様ならびに、近隣病院の先生方には大変ご迷惑をおかけしました。

最新1.5T MRI装置、現在稼働している3T MRI装置(シーメンスヘルスケア社:MAGNETOM Skyra)双方を駆使し、今後も様々な部位や疾患の検査においてより幅広い画像情報提供、診断、治療に役立てるよう放射線科一同心がけて参ります。

今後ともご紹介のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2. 第76回広地区教育祭に当院も出展いたしました！

令和6年11月23日(土)、呉市広市民センターで第76回広地区教育祭が開催され、当院では「医療安全健康フェア」のブースを出展いたしました。

毎年11月25日(いい医療に向かってGOー)を含む1週間は「医療安全推進週間」となっており、「患者の安全を守るための共同行動」の一環として、毎年広教育祭に参加させていただいております。

当日は、医師2名・薬剤師2名による相談コーナー、摂

食嚥下障害看護認定看護師による嚥下体操の指導、管理栄養士による生活習慣病予防のための栄養バランスと健康食品や、食品サンプルの説明指導、理学療法士によるセラバンドロコモ体操指導、感染管理認定看護師による手洗い指導、医療安全ポスター投票コーナー、血管年齢、インボディによる測定など様々なブースを設けて、多くの市民の皆さんにご参加いただきました。



3. 令和6年度 大規模地震時医療活動訓練を実施しました。

令和6年11月30日(土)に当院の災害対策マニュアル・業務継続計画(BCP)の検証、そして職員間の災害に対する意識の向上を目的とした「大規模地震時医療活動訓練」を実施しました。



この訓練は、安芸難一伊予難一豊後水道プレート直下地震の発生を想定して、広島県内全域の災害拠点病院を中心に実施され、当院でも院内各フロアで災害対策本部及び各診療エリアの訓練を行いました。

災害対策本部では、被災想定から院内物資や水の確保、院内病床数の管理や転院搬送、周辺地域・医療機関の現状の把握など、様々な情報の収集や指示・伝達などを行いました。また各診療エリアでは、多数の傷病者を受け入れる際に、限られた資源の中でどのような診療ができるのか、トリアージタグや紙カルテの運用、急変患者の対応、本部との情報伝達など様々な対応が試されました。

そして、今回は断水状況を前提とした訓練の為、呉上水道局のご協力のもと、給水車からの給水訓練、また他県病院より派遣されたDMATと当院DMATの共同活動等、他機関と連携した活動も行いました。

今後も、当院は災害拠点病院として、医療救護活動に関わる様々な訓練や研修を継続的に実施し、災害時に適切な対応ができるよう努めてまいります。



4. | 連携室からのお知らせ

【放射線診断科】

現在、CT、MRI検査の造影希望の際は、92日以内のeGFR値（もしくはクレアチニン値）をご記入いただいておりますが、eGFR値、クレアチニン値両方を測定している場合、いずれの数値もご記入をお願いします。

（申込用紙にも追記いたしました。）



地域医療連携ニュース第191号

〒737-0193 広島県呉市広多賀谷1-5-1 Tel.0823-74-0321 Fax.0823-74-6260

中国労災病院 患者サポートセンター <https://www.chugokuh.johas.go.jp/regionalPartner/>



発行日：令和6年12月20日